

第7回定例委員会会議録

- 委員長) 日程第1 開会宣言
- 委員長) 日程第2 会議成立の宣言
- 委員長) 日程第3 会議録署名委員の指名(白川委員)
- 委員長) それでは、日程第4の審議に入ります。

第17号議案「芦屋市文化財保護審議会への諮問について」
を議題といたします。提案説明を求めます。

生涯学習課長) <議案資料に基づき概略説明>

委員長) 説明が終わりました。質疑はございませんか。

はい、どうぞ、お願いします。

生涯学習課学芸員) 生涯学習課の竹村と申します。少し補足説明をさせていただきます。

ただいまの鉄絵盤につきまして、この出土した当時、今もそうですが、芦屋でこのようなものが出てきたことは、本当に不思議なぐらい貴重なものでして、この黄釉鉄絵盤は、中国の宋時代につくられた陶器で、黄釉という黄褐色の釉薬が塗られた器ですが、黄釉鉄絵盤は中国の宋でも、例えば皇帝や高級な貴族といった非常に身分の高い人しか持てなかったものであります。それが日本に入ってくる時、当時は平氏や藤原氏といった、高級な武士や貴族がいますけども、そのような方とか、天皇家、皇族も含めまして、かなり身分の高い人たちが持っていたものということは、ある程度推定されます。実際、出土する場所は、福岡県の博多遺跡群です。今で言いましたら、国際貿易港になりますので、そこがまず中国大陸、日宋貿易で日本の

入り口として、たくさんそこで荷揚げされますので、この黄釉鉄絵盤もある程度出土するのはわかりますが、その後は瀬戸内海を通過して、関西まで船で運ばれ、最終的には淀川を上って京都の平安京にたどり着きます。博多が入り口で、ゴールは平安京となりますので、本来すべてが平安京まで行くべきはずのものが、なぜかその途中で、芦屋にある寺田遺跡の中に置かれた。ということは、芦屋に非常に身分の高い、貴族か、恐らく平家と関係があるような武士、そういう人が800年前にここに存在していたことを、この黄釉鉄絵盤から証明できると考えております。

今、国際文化住宅都市の芦屋ですけれども、宋という中国大陸からの当時の超一流品を持てるような、身分の高い人が住んでいたという、やはり当時からの芦屋の土地柄を証明する上でも非常に重要でありますし、何度も申しますとおり、日本国内でもほとんど出土例がないものですので、そういう器自体でも希少、物としての本質的な価値を持っております。

以上でございます。

小石委員) 地鎮等で埋められたのであろうというふうに、状況からしてそう推測されているとのことですが、そこにはやはり、そう推測できる建物のようなものがあったと考えられるのですか。

生涯学習課学芸員) 今のところ建物跡が残っておりまして、その建物跡の一つの柱の穴の中に、この器が割られて入れられておりました。その建物跡が恐らく、平氏の武家屋敷とか、かなり身分の高い人の居住宅になる可能性が高いと思われれます。

小石委員) そこは、特定はされてないわけですね。

生涯学習課学芸員) はい。考古学の資料は、文字の資料がなかなか出てきませんので、状況証拠から推測することになります。こういうものが出てきたからこそ、この建物が身分の高い人と関係するだろうという推測ができますが、それ以上の特定は難しいと思います。

委員長) 焼き物って多分昔からずっとあって、日本でも焼き物は、弥生時代もあります。その点では、宋の時代は、必ずしもそんなに古くないですよ。宋は、元の後ですから、日本では平安時代、あるいは鎌倉となると決して古いというわけでもない。禅宗などを含めまして中国の文化がどんどん入ってくる時代ですよ。宋銭は相当日本でも使われていたであろうし。それなりの交流もあり、中国の陶器類も相当入ってくるのに、この陶器が貴重というのは、数が少ないからですか。

生涯学習課学芸員) そうですね。資料にある宋代の窯跡、例えばよく聞く龍泉窯とか景德鎮窯の器も、実は芦屋市内から出土していますが、数はある程度出土しておりますので、やはり超高級品と高級品の違いがある中で、この盤は超高級品という希少価値があるということです。

委員長) なるほど。普通は輸入港の博多か、あとは天皇の近所しかなかったと。

生涯学習課学芸員) お茶わんとか小さい器でしたら、青磁とか白磁のお茶わんが芦屋市内からも時々出土していますし、ある程度大きな都市でしたら、全国的にも出土しておりますが。

小石委員) 地鎮に使われるときは、普通割られることが多いのですか。奈良でも貴重なものが入っているものは、よく出てきてますが、

普通は割るケースが多いんですか。

生涯学習課学芸員) いえ、割るようことはあまりないと思いますが、そういう意味では特殊です。やはり精神的な、当時何か価値を込めて割っていると思うんですけども、これをすべての場所でわざわざ割ってるようなものではないです。もともと割られる前は、例えば政治的な儀式、身分の高い人が集まる宴会の場で使われた器と思いますが、それが最後の最後に地鎮と呼ぶ、その地の神様をおさめるために、やっぱり高級なものの方が、多少霊力が高いといった発想があったのかもしれませんが、けれども、高い物をわざわざ壊して埋めたという状況が推測されます。

宇佐見委員) これは本当にすごいものだと思いますが、ぜひ文化財に指定できればいいなと思いますが、この後の流れはどうなりますでしょうか。

生涯学習課学芸員) 事務局では、まず芦屋市の指定文化財として指定できるだけの価値はあると考えております。今後は県の指定といったものを目指すだけの価値は持っているものだと考えます。

ただ、見ていただいたらわかりますけども、残存状態は完全な形ではありませんので、重要文化財まで行くものではないと思いますが、県の指定レベルとしては十分価値があるのではないかと考えております。

委員長) この割れていない、ある程度の完全体は、どこかの博物館などにはあるんですか。

生涯学習課学芸員) 私もまだ調べていないのでお答えできませんが、大きな物なので、恐らくほとんどは破損した状態で、完全な形での出

土はないと思います。博多でも本当に破片ばかりで、こういう大きな形で出土するのは逆に少ないです。

宇佐見委員) これが指定された暁には、芦屋市立美術博物館への展示も考えられるんですか。

生涯学習課学芸員) 今はまだ、具体的な案は持ち合わせておりませんが、指定されましたら、市民の皆様には何らかの形で公開をしていかないといけないと考えております。

宇佐見委員) できるだけ子供たちに見せたいですね。今年の大河ドラマで平清盛をやっておりますので、皆さんの関心もかなり高い時代設定だと思いますので、そうなればいいなと思います。

委員長) 大輪田泊は、今の新開地あたりになりますか。

生涯学習課学芸員) 大輪田泊は、神戸市兵庫区にある和田岬が大輪田泊と考えられております。この器は、間違いなく大輪田泊で荷揚げされ、陸路で芦屋まで運ばれたものです。

委員長) 極めて希少、完全な状態の出土もあまりないようなものということですね。芦屋の貴重な財産とも言えるわけですね。他に質疑はございませんか。

無いようですので、これをもって質疑を打ち切ります。

これより採決いたします。本案は、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

〈異議なしの声〉

御異議なしと認めます。よって本案は可決されました。

〈第17号議案採決。結果、可決（出席委員全員賛成）〉

委員長) 日程第5 閉会宣言